



川岸学園NEWS

～異年齢の子ども達がつながる新たな環境づくりをめざして～ 第7号

川岸学園に対する「みんなの声をとどけよう ワークショップ」開催

川岸地区の有志の皆さんによる「とちの実の会」の主催により、川岸学園への想いや願いを届ける「みんなの声をとどけよう ワークショップ」が10月12日(土)に岡谷市役所で開催されました。地域の方々や保護者、小中学生など、約40名の方が参加し、グループに分かれ、4つのテーマに添って、たくさんのご意見をいただきました。

いただいたご意見は川岸学園づくりに向けた検討事項として受け止め、各部会で協議・検討をさせていただきます。ワークショップにご参加いただきました皆さん、ありがとうございました。



各グループから模造紙がびっしりと埋まるぐらいたくさんの意見を出し合っていました。

～当日、テーマごとで出された主な意見をご紹介します～

今の保育園・川岸小学校・岡谷西部中学校のいいところ、これからも残したいところ

- ・とちの木や桜の木を残してほしい
- ・校内のプレイルームやすべり台、アスレチックを残してほしい
- ・義務教育学校に移行しても節目の行事(6年生の卒業式など)は残してほしい
- ・とちっこひろば(放課後の居場所づくり)を残してほしい
- ・昔みたいに学校で動物を飼いたい
- ・夏明保育園で地域の方が貸してくれた畑の活用を考えてほしい
- ・小学校のグラウンドの広さを確保してほしい
- ・蚕学習は続けてほしい
- ・保育園で行われている食育は続けてほしい

今の保育園・川岸小学校・岡谷西部中学校の变えてほしいところ

- ・学習内容。1～3年生は遊び中心の総合学習、4年生からは5科目を入れながら、総合学習も行う
- ・中学校の制服を無くしてほしい ・部活動やクラブ活動を充実させてほしい
- ・スクールバスが安全なルートを通るようにしてほしい ・明るい校舎、明るい廊下にしてほしい
- ・不登校児童・生徒の対応や支援ができる教室を設置してほしい
- ・雨漏りをなくしてほしい ・自分の未来を描くことができる教育をやってほしい
- ・空いている教室をもっと活用してほしい ・クラスや先生を自分で選べるようにしてほしい
- ・川岸地区以外からも入学できるようにしてほしい
- ・修学旅行もいいが、6年生は広島へ行って平和学習をしたらどうか
- ・やりたいことにチャレンジできる学校 ・休み時間をもっと増やしてほしい ・給食の無償化
- ・地域との関わりをもっと増やしてほしい ・安全な駐車場の環境、安全な車の乗り入れ環境
- ・英語だけでなく日本語(言葉遣い)をもっと大切にした学習をしてほしい

新しい学校、こども園にこんな場所(諸室や設備、空間)があったらいいな

- ・幼保小中みんなで給食が一緒に食べられる環境 ・子どもが安心して過ごせるクールダウン室
- ・地域の方が気軽に集まって交流できるスペース ・LD等通級指導教室を設置してほしい
- ・室内プール(温水プール)がほしい ・保育園・幼稚園から英語に触れる環境
- ・ひなたぼっこできるテラス ・カモシカが良く出るので、カモシカを学べるコーナー
- ・映画も見られる図書館 ・いろいろな楽器がそろっていて自由に使える学校
- ・小中をつなぐ渡り廊下には土石流などの災害対策をしっかりとしてほしい
- ・サッカーができる芝生エリア ・バリアフリーに配慮したスロープなどの設置
- ・川岸地区の歴史資料を保存したコーナー ・先生がゆっくりできるカフェテリア的スペース
- ・教室のレイアウトを変えてほしい(ソファやじゅうたんエリアがあってもよい)
- ・保育園や学童クラブの送迎用の駐車場の確保 ・リラックスルームを作してほしい

その他(自由意見・質問)

- ・不登校の子どもも通いやすい居場所づくり ・PTA改革
- ・他校や他の地区との交流ができる ・中間クラスの設置(多様な子どもが学べる環境づくり)
- ・小学5、6年生が中学生に活躍の場を取られてしまわないような仕組みづくり
- ・保育園が遠くなってしまう家庭が困らないような通園バスを配車してほしい
- ・STEAM教育の導入 ・グループ同士で話す授業をいっぱいつけてほしい
- ・いじめのない学校づくり、9年間同じなのでスクールカーストなどは少し心配
- ・9年制を有効活用したカリキュラムの提供 ・子どもたちが自分で考えた授業を自分たちで進める
- ・中学3年生にとって、12歳下の子どもたちまでリードしていくことがプレッシャーにならないか心配

いただいた意見のうち、施設整備に関するご意見は設計業務の中で検討を進めるとともに、これからの義務教育学校や認定こども園に対する期待や不安など、様々な要望については、各専門部会に分けて、学校や保育園の職員、保護者や地域の皆様とともに検討を進めてまいります。また、決定しましたら、川岸学園NEWSで随時、報告させていただきます。